

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年9月15日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年9月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機残留熱除去海水系ポンプ(B)のモーター冷却水ストレーナ下部フランジのにじみについて】 当直員が、6号機残留熱除去海水系ポンプ(B)を運転確認のため起動したところ、待機側のモーター冷却水ストレーナ(302B)の下部フランジより1滴/30秒程度のにじみを確認。 モーター冷却水ストレーナ入口弁を「全閉」にすることで、ストレーナを隔離状態とし、にじみが停止。 フランジパッキンの劣化により、にじみが発生したものと推定。 モーター冷却水ストレーナは2基あり、現在通水使用しているモーター冷却水ストレーナ(301B)が健全であるため、システムに及ぼす影響なし。 今後、当該ストレーナのフランジボルトの増し締めを実施し、漏えい確認をポンプ運転時に実施。</p> <p>※通常、待機側のモーター冷却水ストレーナ出口弁は「全閉」のため、入口弁を「全閉」にすることで隔離状態となる。</p>	GⅢ	9月10日